

## **Ⅱ 奈良県の子ども、若者の未来への責任**

# こども・子育て施策の推進

**R 7 予算案 10,681百万円 R 6・2月補正予算案 49百万円**  
**R 8～9 債務負担行為3,615百万円 (R 6 予算 8,587百万円)**

- 令和6年度において、本県のこども政策を総合的に推進するための「奈良県こどもまんなか未来戦略」を策定
- 未来戦略の9つの取組方針に基づき、令和7年度実施事業について検討し、以下の主な取組を実施

## 取組方針① こども・若者の視点に立った施策の立案と推進

### ○こども・若者への意見聴取と反映を実施

R 7 予算案 5百万円 (R 6 予算 3百万円)

- ・こども・若者が、自らが当事者となる施策に参画できる機会を確保し、「こどもまんなか社会」の実現を目指すため、意見発表の場を提供

## 取組方針② ジェンダーギャップの解消を始めとした社会全体の意識・構造の改革

### ○若者のライフデザイン実現に向けた支援

R 7 予算案 6百万円 (R 6 予算 7百万円)

- ・将来の選択肢が制限されることのないよう、早い段階から正しい情報に触れ、結婚や子育てなどライフイベントについて考える機会(ライフデザイン)を提供

《その他、別ページに掲載の取組》

### ○困難な問題を抱える女性への支援

R 7 予算案 10百万円 (R 6 予算 1百万円)

(P.15「困難な問題を抱える女性への支援」参照)

## 取組方針③ 若い世代、ひとり親世帯への就労支援・所得の向上

### ○若者に県内企業を知ってもらう機会の創出

R 7 予算案 6百万円 (R 6 予算 6百万円)

- ・高校生が県内企業を訪問することで、適性や仕事について考える機会を提供

### ○オンラインを活用したリカレント教育による就職支援

R 6・2月補正予算案 30百万円 (R 6 予算 — )

- ・求職者と企業をマッチングし、オンライン研修と企業内実践訓練を通じて、企業が求める知識・能力を有する人材を育成

### ○企業単独では困難な在職者のキャリアアップの支援

R 6・2月補正予算案 15百万円 (R 6 予算 — )

- ・ITスキルやマネジメントスキルなど、多彩なカリキュラムのeラーニング環境を提供

〈問い合わせ先〉 ① ② こども・女性局 こども・女性課 平野課長補佐 (内線3355)  
③ 産業部 人材・雇用政策課 西村課長補佐 (内線3572)

# こども・子育て施策の推進

## 取組方針④ 男女ともに仕事と家庭・子育てを両立できる職場環境の整備

- 働きやすい職場づくりと女性の就労支援を推進  
R 7 予算案 73百万円 (R 6 予算 102百万円)
  - ・企業における業務改善を支援するとともに、就労を希望する女性に対して、リスクリングと、企業とのマッチングを支援
- ワクワクする職場環境づくりの推進  
R 7 予算案 3百万円 (R 6 予算 3百万円)
  - ・働きやすい職場づくりに取り組んでいる事例の紹介や、企業・団体等のトップに向けた実効性のあるセミナーや意見交換の機会を提供

## 取組方針⑤ 個人の希望に応じた選択ができるよう、結婚、妊娠、出産、子育ての切れ目のない支援の充実

- こども・子育てDXの推進  
R 7 予算案 6百万円 (R 6 予算 6百万円)
  - ・こども・子育て分野のDXを推進するため、市町村との電子母子手帳アプリ等のシステムの共同化等を検討

## 取組方針⑥ 困難な状況に置かれているこども・子育て世帯に対する相談体制、支援等の充実

- こども食堂（こどもの居場所）への支援  
R 7 予算案 31百万円 (R 6 予算 18百万円)
  - ・**新**企業版ふるさと納税を活用し、新たにこども食堂を開始する際の開設経費に対し補助
  - ・こども食堂コーディネーターを配置し、開設・運営にかかる相談、民間協力企業とこども食堂のマッチング等の支援を実施
  - ・「奈良県安心・安全こども食堂認証制度」をこども食堂に普及させるため、認証の取得・維持に必要な経費に対し補助
  - ・調理や遊びを通じたこどものはぐくみ活動を促進するため、こども食堂の食事を一定期間無料化するこども食堂に対し補助
- 新**公設フリースクールの整備  
R 7 予算案 17百万円 (R 6 予算 — )
  - ・メタバースを活用したオンライン環境を構築し、多様な学びの場、居場所の確保による不登校支援

《その他、別ページに掲載の取組》

- 新**妊産婦等への支援の強化  
R 7 予算案 22百万円 (R 6 予算 — )  
(P.15「困難な問題を抱える女性への支援」参照)
- ヤングケアラーへの支援の強化  
R 7 予算案 267百万円 (R 6 予算 226百万円)  
(P.16「ヤングケアラーへの支援の強化」参照)

〈問い合わせ先〉 ④ ⑤ こども・女性局 こども・女性課 平野課長補佐 (内線 3 3 5 5)  
⑥ こども・女性局 こども家庭課 伊豆藏課長補佐 (内線 2 8 7 1)  
教育委員会 教育研究所 井上部長 0744-33-8908

# こども・子育て施策の推進

## 取組方針⑦ こどものすこやかな成長と子育て世帯を支える教育、保育等の体制整備

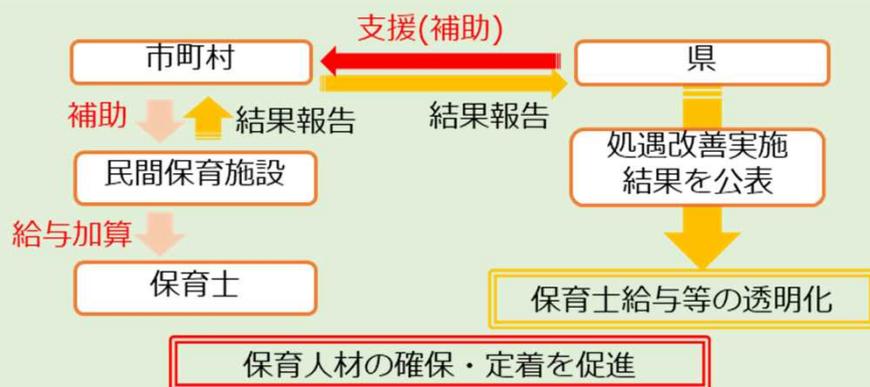
### ○保育士の処遇改善

R 7 予算案 349百万円 (R 6 予算 326百万円)

- ・ 県内保育士の処遇改善を実施し、民間保育所等における保育士給与等の透明化を図ることにより、保育人材の確保・定着を促進

常勤保育士等の処遇改善（給与加算）に取り組む市町村に対し1/2を補助

(県の補助上限額：1人あたり1万円/月)



### ○(新) 教育行政に係る法務相談体制の整備

R 7 予算案 5百万円 (R 6 予算 - )

- ・ 学校等への過剰な要求や学校事故などの諸課題に対応するため法務専門家の派遣体制を整備

法務専門家（弁護士）を選任し、県立学校、県及び市町村教育委員会への法務相談、研修及び出前授業等を実施

《その他、別ページに掲載の取組》

- (新) ベビーシッターを利用した子育て支援  
R 7 予算案 18百万円 (R 6 予算 - )  
(P.17「子育て世帯への支援の拡充」参照)

- 発達障害児への支援  
R 7 予算案 93百万円 (R 6 予算 88百万円)  
(P.6「発達障害児(者)の支援」参照)

- 高等学校授業料等の支援制度を拡充  
R 7 予算案 1,283百万円 (R 6 予算 1,259百万円)  
(P.19「高校授業料の無償化」参照)

- 県立学校の環境改善  
R 7 予算案 2,740百万円 (R 6 予算 1,303百万円)  
R 8 債務負担行為 3,118百万円  
(P.20「県立学校の環境改善」参照)

〈問い合わせ先〉 ⑦ こども・女性局 こども保育課 中川主幹 (内線2885)  
教育委員会 高校教育課 辰巳課長補佐 (内線5251)

# こども・子育て施策の推進

## 取組方針⑧ 妊娠、出産、こども、子育てを支える保健医療提供体制の充実

《その他、別ページに掲載の取組》

### ○不妊治療の支援

R 7 予算案 94百万円 (R 6 予算 7百万円)

(P.18「不妊治療に対する支援」参照)

### ○ぬくもりあふれる公園プロジェクト

R 7 予算案 262百万円 (R 6 予算 178百万円)

R 8 債務負担行為 130百万円

- ・全ての世代にやさしい公園機能を拡充するため、県営都市公園の施設・設備の設計・整備を実施



手すりの設置、段差の解消



トイレの整備



授乳施設の設置



おもいやり駐車場の設置



休憩施設の設置

## 取組方針⑨ こども、子育てにやさしいインクルーシブなまちづくり

### ○まほろば健康パークの機能強化

R 7 予算案 95百万円 (R 6 予算 14百万円)

R 8～9 債務負担行為 35百万円

- ・すべての人が利用できる、インクルーシブな公園を目指し、まほろば健康パークの機能を強化するため、基本設計等を実施



### (※) その他こども・子育て施策に係る予算

R 7 予算案 5,295百万円 R 6・2月補正予算案 4百万円

R 8 債務負担行為 333百万円 (R 6 予算 5,043百万円)

〈問い合わせ先〉 ⑨ まちづくり推進局 公園企画課 成戸課長補佐 (内線 6 4 1 9 3)

(※) こども・女性局 こども・女性課 平野課長補佐 (内線 3 3 5 5)

# こども・子育て施策の推進（困難な問題を抱える女性への支援）

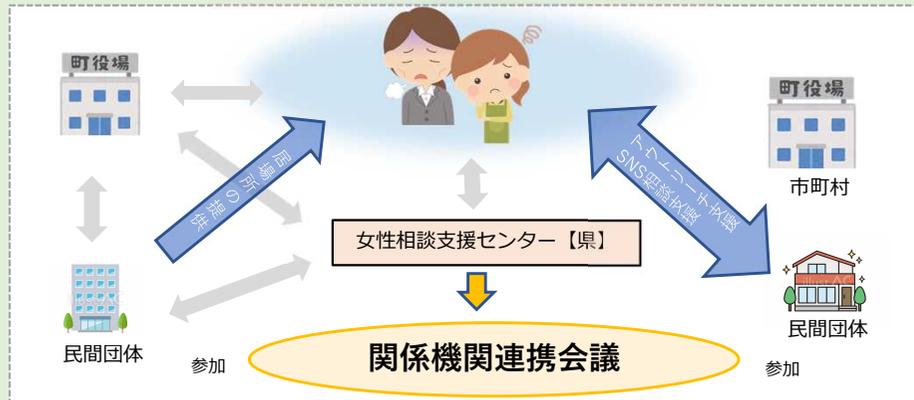
**R 7 予算案 32百万円**  
**(R 6 予算 1百万円)**

様々な事情により日常生活又は社会生活を営む上で困難な問題を抱える女性に対して支援を強化

## ① 民間団体等と連携し、地域での自立・定着まで、切れ目なく重層的な支援を実施

R 7 予算案 10百万円（R 6 予算 1百万円）

- ・ 困難な問題を抱える女性への支援を適切かつ円滑に行うため、包括的な体制構築に向けた民間団体等や市町村との連携会議を開催
- ・ **新** アウトリーチ等による困難な問題を抱える女性の早期把握や一時的な居場所が必要と判断された女性に対する安心・安全な居場所の確保など、民間団体等が実施する困難な問題を抱える女性への支援に対し補助



## ② **新** 特定妊婦等に対し、面接や訪問相談等により状況を確認し、関係機関へ確実につなぐ体制を整備

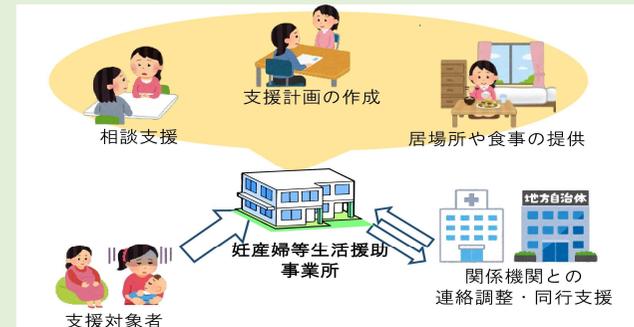
R 7 予算案 12百万円（R 6 予算 — ）

- ・ 特定妊婦や性に関する疾病等に悩む若者に対し、面談・訪問相談等により状況を把握し、関係機関と連携を行うとともに、産科受診等医療機関への同行支援を行い、対象者の気持ちに寄り添った支援の実施

## ③ **新** 家庭生活に支障が生じている妊産婦や出産後の母子等に対して支援を実施

R 7 予算案 10百万円（R 6 予算 — ）

- ・ 利用者の状態に応じた支援計画の作成
- ・ 望まない妊娠に対する葛藤の相談やこどもの養育相談、自立に向けた相談等の相談支援
- ・ 入居又は通いによる居場所や食事の提供等の生活支援
- ・ 医療機関受診、就労支援機関の利用、行政手続等の同行支援
- ・ 児童相談所や市町村、医療機関等の関係機関との連携



- 〈問い合わせ先〉
- ① こども・女性局 こども・女性課 平野課長補佐（3355）
  - ② 医療政策局 健康推進課 山口参事（内線3142）
  - ③ こども・女性局 こども家庭課 伊豆藏課長補佐（内線2871）

# こども・子育て施策の推進（ヤングケアラーへの支援の強化）

**R 7 予算案 267百万円**  
 （R 6 予算 226百万円）

## ① ヤングケアラー支援体制を構築

R 7 予算案 11百万円（R 6 予算 1百万円）

- ・(新)新たにヤングケアラー・コーディネーターを配置するなど、市町村や福祉・介護・教育民間支援団体等の関係機関等と連携して、発見・把握支援体制を構築
- ・ヤングケアラー等に関する実態調査の実施

主に18歳以上のヤングケアラーの早期発見にも対応

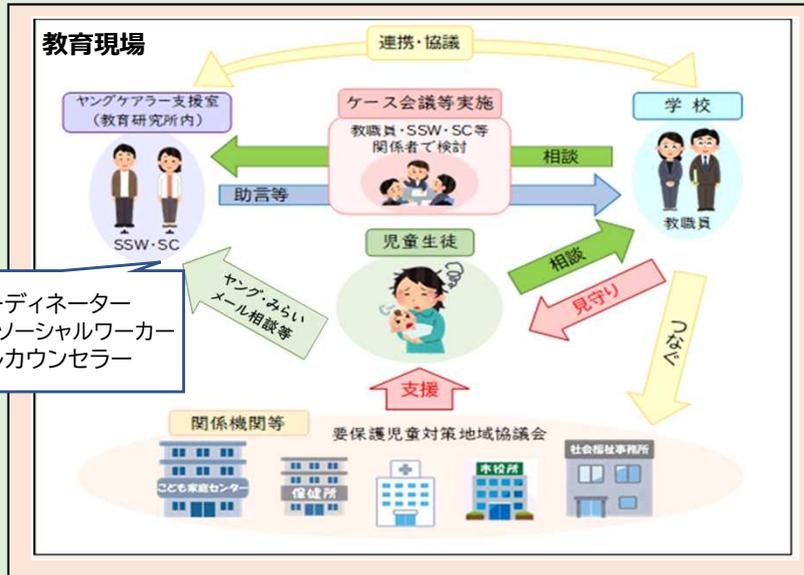
県・市町村  
 ヤングケアラー・コーディネーター  
 (県委託)

ヤングケアラー



地域・活動領域で支援

学校 こども家庭センター 地域包括支援センター 医療機関 こども食堂 民間支援団体 等



- ・支援コーディネーター
- ・スクールソーシャルワーカー
- ※スクールカウンセラー

## ② 教育現場における支援体制の拡充

R 7 予算案 256百万円（R 6 予算 225百万円）

令和5年度から教育委員会にヤングケアラー支援室を設置し、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置

引き続き、以下の取組を実施

- ・児童生徒一人一人の実情に応じた福祉的・心理的支援等のコーディネート
- ・学校・市町村教育委員会等からの相談受付、メール相談窓口（ヤング・みらい）の運営等

**令和7年度より、スクールカウンセラーを全公立小学校に配置拡充**

（令和6年度 77校 → 令和7年度 178校）

〈問い合わせ先〉 ① こども・女性局 こども家庭課 伊豆藏課長補佐（内線2871）  
 ② 教育委員会 教育研究所 井上部長 0744-33-8908

## 新 ベビーシッターを利用した子育て支援の実施

- ・就労の有無に関わらず、子育て支援の一環として、県が試行的に実施するベビーシッターを利用した子育て支援事業を活用し、利用料助成を行う市町村を支援

### 【補助対象額】

市町村が利用者に対して助成する額の1/2

### 【県の補助上限額】

対象の子1人あたり1,500円/回かつ36,000円/年

### 【対象年齢】

0歳～3歳未満

### 【補助対象サービス】

認可外の居宅訪問型保育事業  
(育児支援、外出支援、送迎支援、家事支援)

## 補助対象サービス

認可外の居宅訪問型保育事業



育児支援



外出支援

(保護者が病院や買い物に行く際の付き添い等)



送迎支援

(園や習い事への送り迎え等)



家事支援

(炊事・洗濯・掃除等)

# 不妊治療に対する支援

R 7 予算案 94百万円  
(R 6 予算 7百万円)

## ① 不妊治療費助成を行う市町村への補助

R 7 予算案 88百万円

- ・ 不妊に悩む夫婦等の経済的・精神的な負担を軽減し、妊娠を望む全ての人が、積極的に治療に取り組めるよう支援

- ・ 不妊治療費助成を行う市町村への補助を実施

補助率 県 1 / 4 ・ 市町村 1 / 4 ・ 自己負担 1 / 2

補助対象 (1) 保険適用治療

(2) 保険適用対象治療の回数制限を超えた治療 (2 回分)

(3) (1) 又は (2) と組み合わせて実施される先進医療

上限額 1 回の治療あたり (1) と (3) は 5 万円 (2) は 15 万円

### 一般不妊治療【保険適用】

生殖補助医療	<b>保険適用対象治療</b> 1) 採卵、採精 (男性不妊) 2) 体外受精、顕微授精 3) 受精卵・胚培養 4) 胚凍結保存 5) 胚移植	<b>【保険適用】</b> ※年齢・回数制限あり(1子ごと) ・ 40歳未満 通算6回まで ・ 40歳以上43歳未満 通算3回まで	補助対象
		<b>【保険適用外】</b> 回数制限の超過分	
	先進医療として認められた医療技術 <b>【保険適用外】</b> * 保険適用対象治療1)~5)に追加的に実施されるもの		
	先進医療として認められていない医療 <b>【保険適用外】</b>		

## ② 性と健康の相談センター「ならはぐ」の運営

R 7 予算案 7 百万円

(R 6 予算 7 百万円)

- ・ 不妊・不育症、妊娠・出産、思春期の悩みなどに対し、若年層も相談しやすいオンライン相談窓口を設置し、専門職による相談を実施

- ・ 性と健康に関するセミナーの実施



〈問い合わせ先〉 医療政策局 健康推進課 山口参事 (内線 3 1 4 2)

# 高校授業料の無償化

R7 予算案 1,283百万円 (R6 予算 1,259百万円)

## 高等学校授業料等の支援制度を拡充 (国の就学支援金に県が上乗せして支援)

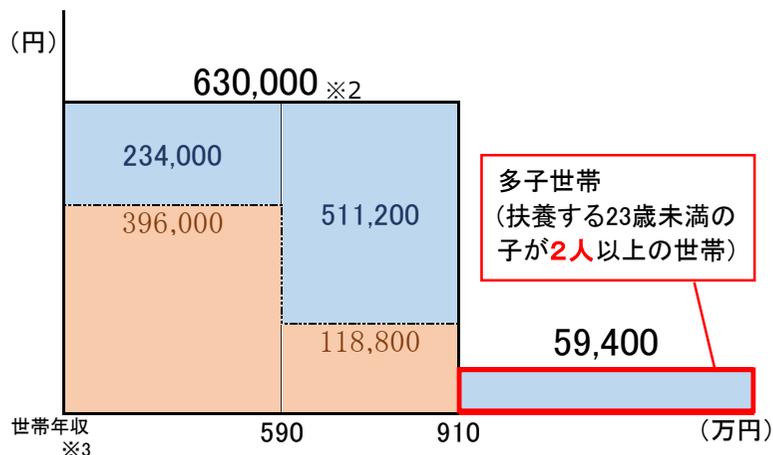
こどもたちが家庭の経済的状況にかかわらず、希望する進路を選択できるよう授業料等を支援

対象世帯：県内に保護者が在住し、子どもが県内の高等学校等に通う世帯

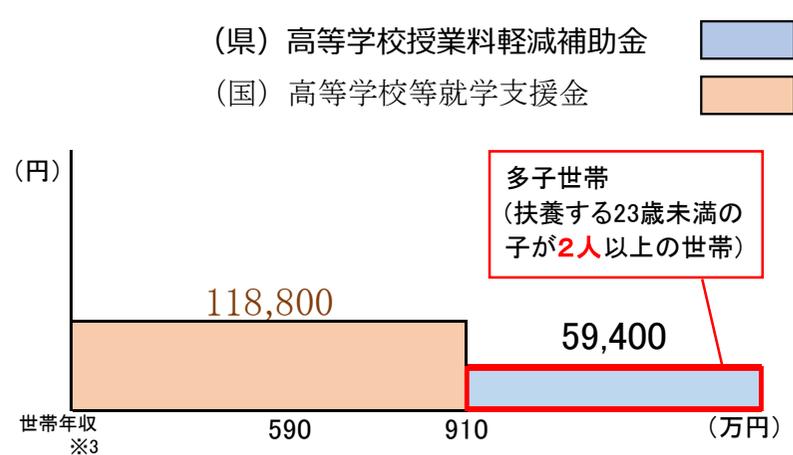
拡充内容：世帯年収(目安)910万円以上の世帯への支援対象を  
扶養する23歳未満の子が  
「3人以上の世帯」から「2人以上の世帯」に拡大

	23歳未満の子の扶養人数		
	1人	2人	3人以上
R6	0円	0円	59,400円
R7	0円	59,400円	59,400円

【私立高等学校等※1 (全日制・定時制) の支援イメージ】



【県立高等学校 (全日制) の支援イメージ】



- ※1 私立高等学校・高等専門学校・私立専修学校(高等課程(3年制)) (通信制高校については、県内に設置された県認可校に限る)
- ※2 通信制は32万1000円
- ※3 世帯年収は、両親の一方が働いていて、高校生1人、中学生1人のサラリーマン世帯の場合の目安

〈問い合わせ先〉 ① 地域創造部こども・女性局教育振興課 関戸課長補佐 (内線2406)  
② 教育委員会事務局学校支援課 甲斐課長補佐 (内線5286)

**R 7 予算案 2,740百万円 R 8 債務負担行為 3,118百万円**  
**(R 6 予算 1,303百万円)**

## ① 県立高校トイレピッカピカ5カ年計画を推進

R 7 予算案 1,120百万円 (R 6 予算 276百万円)

R 8 債務負担行為 2,590百万円

○令和7年度は10校で洋式化・乾式化の工事を実施

改修後イメージ



## ② 特別教室、体育館への空調設備の設置

R 7 予算案 114百万円 (R 6 予算 93百万円)

### 【特別教室】

- ・稼働率の高い教室を優先して空調設備を設置 (8校19室)

### 【体育館】

- ・授業中等の熱中症対策のために空調設備を設置

(県立高校：全体設置計画作成、特別支援学校：4校に設置)



## ③ 県立学校の老朽化対策

R 7 予算案 1,507百万円 (R 6 予算 935百万円)

R 8 債務負担行為 527百万円

- ・屋上防水改修等の大規模な改修
- ・教育環境改善のための修繕や備品更新等

〈問い合わせ先〉 教育委員会事務局学校支援課 岡方課長補佐 (内線5281)